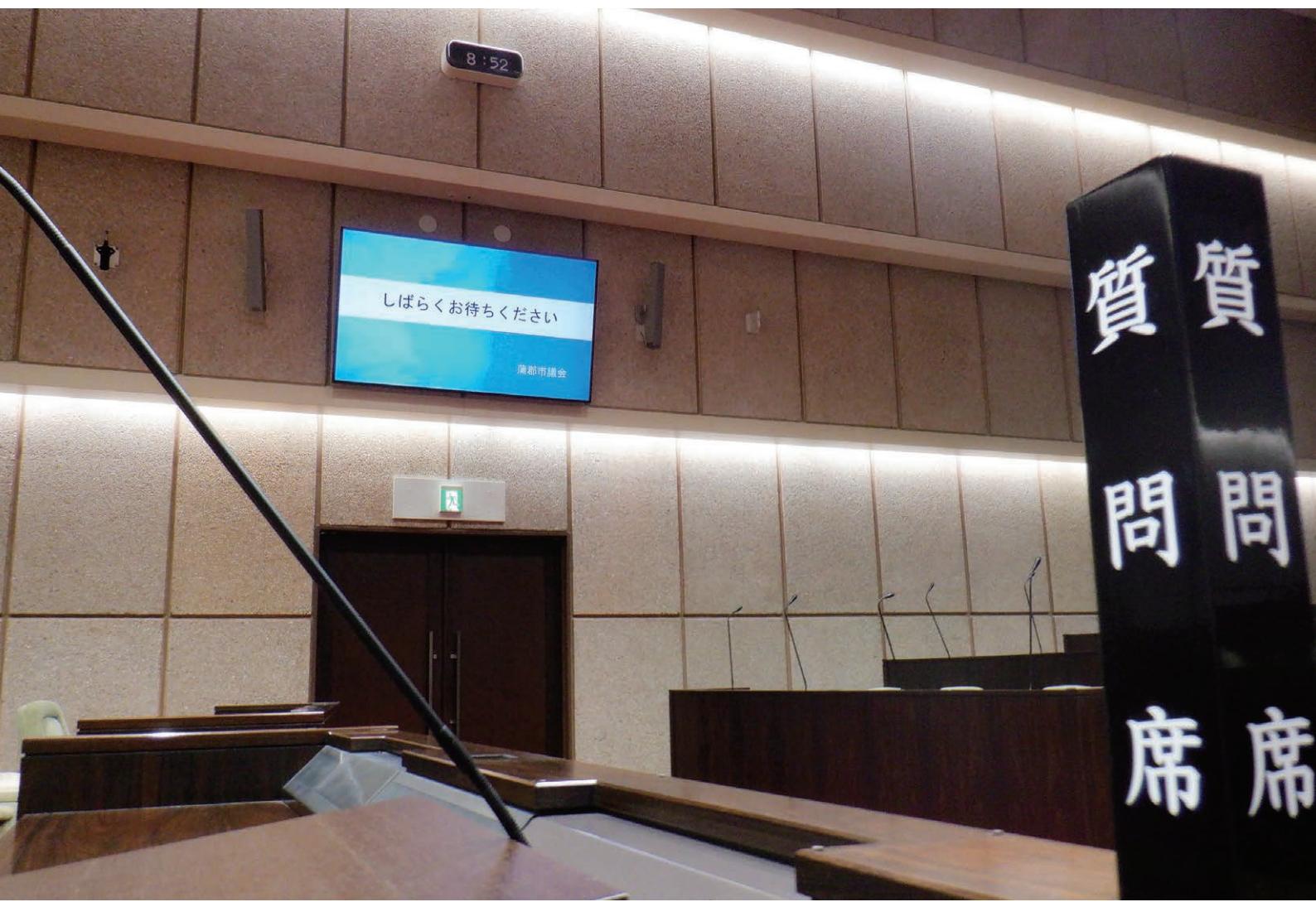


がまさおり 議会 だより

9月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～8
議決された主な議案……………	8～13
令和6年度一般会計決算 458億8,752万円	
委員会通信……………	13
議会日誌、12月定例会予定等……………	14

NO.
2025.11 130



議場大型モニター

9月定例会

一般質問…ここが論点

9月市議会定例会中、9月4日、5日、8日の3日間で、市政全般について18人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくな、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。



詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧になります

日程	議員名	主な質問の項目
9月4日(木)	八田寿人	野犬対策と有害鳥獣対策
	日恵野佳代	2024年8月27日の竹谷町の土砂災害 快適なトイレの充実 福祉を支える人を支える蒲郡市へ 保育園の民営化の動き
	芦刈純奈	生きづらさを感じる働く世代への支援
	竹内滋泰	民生委員の役割と現状、高齢化社会に向けての今後の課題と高齢者支援 蒲郡市シルバー人材センターのさらなる成長 蒲郡市民病院における整形外科体制の刷新と展望
	松本昌成	南海トラフ地震新想定 マイナ救急 誰もが安心して搾乳できる環境づくり
	伊藤享佑	OHBシステムの進捗状況 大規模災害に向けた水対策 観光防災 子供の発達支援
9月5日(金)	来本健作	教育のまち蒲郡を目指して
	尾崎広道	海岸部一般人の立ち入り 国道23号蒲郡バイパス蒲郡IC及び蒲郡西IC 蒲郡市民病院外来部の患者待合所の施設整備
	太田哲也	予防医療の推進
	牧野泰広	がまつ！ 生と死の尊厳 青色防犯パトロール
	鈴木将浩	ふるさと住民登録制度 移住定住促進 自治体職員の兼業 地区防災計画
	千賀充能	部活動 総代区 市のドローンの使用 市の土地の未利用地
9月8日(月)	青山義明	国道473号の状況 蒲郡市民病院
	鈴木貴晶	学校生活における環境の改善 市民プールの整備計画状況 クリーンセンター等における新たな取組
	新実祥悟	ポートレース事業及び収益の市民還元 蒲郡市政クラブが求めている市民税10%減税 働き方改革
	中野香余	東港のまちづくり 学校における猛暑（熱中症）対策
	鈴木基夫	蒲郡市のビジョン 障がい者の青年期の学びと集いの場に関するニーズ
	大須賀林	イネーブリングシティ

※下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています

問 市は具体的な野犬対策として何を行っているのか。

答 令和7年8月末時点で捕獲実績は17頭であり、西浦地区での捕獲実績が多くなっています。どれくらいか。

問 今年度の捕獲実績

答 情報提供者の9割以上がシステムを利用しており目撃情報は増えているが、野犬の数自体は増加していないという認識である。

問 今後は野犬の目撃情報が増加したようを感じる。原因は何か。

答 今年6月より、オンラインで目撃情報を送付できるシステムの運用を開始し、市へ速やかに情報共有ができるようになつたためと考える。

問 今後は野犬の目撃情報が増加したようを感じる。原因は何か。

答 今年6月より、オンラインで目撃情報を送付できるシステムの運用を開始し、市へ速やかに情報共有ができるようになつたためと考える。

野犬対策と有害鳥獣対策について
八田寿人
自民党市議団
・無所属の会



市ホームページより

問 今後の課題を伺う。

答 野犬へのむやみな餌やり行為の影響により、檻での捕獲が難航している。動物愛護センターと連携をしながら、むやみな餌やりを行なうことが野犬を増やしてしまう原因となっていることを市民に周知していきたい。

答 野犬の捕獲業務は県の動物愛護センターと連携し、市民からの情報を共有しながら、檻の設置場所の選定などを調整を行つてている。また、むやみな餌やりをしないよう促す啓発看板を周辺へ設置している。

快適なトイレの充実について

問 市民会館と市民体育センター及び避難所となる小中学校のトイレの男女比率は、市

答 小便器も含めたトイレの男女比率は、市



問 県等から出された調査報告書は、土砂崩れの原因とした大量の水の発生源を不明としたが納得できない。公正な第三者検証委員会について、国等への設置要請や、市独自で設置する考えはない。

答 現時点では、できる限りの調査をしたという認識であり、第三者検証委員会の設置等を踏まながら、市民が安心して快適に利用できる公共施設のトイレの整備に心がけたい。

問 昨年8月の竹谷町の土砂災害について

日恵野佳代
無会派・日本共産党

民会館で、男性用が女性用の約1・3倍、体育馆センターで約2・1倍、小中学校で約1・4倍である。

問 快適なトイレ整備に向け、公共施設等に設置する基準の導入や女性用トイレを多めに設置する基準の導入やに対する市の考えは。

答 来年度、国が女性用トイレの行列改善に向けて、トイレの設置数の統一基準を策定する予定だと聞いている。この基準等を参考にし、社会的ニーズや多様な利用者への配慮等を踏まえながら、市民が安心して快適に利用できる公共施設のトイレの整備に心がけたい。

芦刈純奈
自民党市議団・無所属の会

生きづらさを感じる働く世代への支援

問 心の不調を抱える人の相談窓口や支援の状況、支援団体との連携を伺う。

答 精神疾患により生きづらさを感じている人の相談は、福祉課や福祉総合相談室、健康推進課、保健所等で行っている。支援団体との連携は、障害福祉サービスの利用者に対し、相談支援専門員や福祉事業所及び福祉課等と協力して支援している。

問 市職員への研修や対応力向上の取組は。また、市民や企業への理解を広めるための啓発活動について伺う。

答 市職員に対しては、令和6年の障害者差別解消法の改正による、障害のある人に対する合理的配慮の提供と不当な差別的取扱いの禁止を周知し、関係団体等に対しても適切な対応をするよう周知している。市民や企業に対しては、毎年、広報に発達障害啓発週間に開催する記事を掲載して理解の促進を図っている。

から49歳までの人に対する支援を、ハローワークでは職場復帰支援を行っている。

問 人間会館と市民体育センター及び避難所となる小中学校のトイレの男女比率は、市

答 障害福祉サービスでは、就労継続支援や就労移行支援等、働く場の提供や知識や能力の向上のための訓練を行っている。若者サポートステーションでは、就職に悩んでいる15歳



問 心の不調を抱える人が社会復帰・就労支援を受けられる制度は。

問 蒲郡市シルバー人材センターのさらなる成長

竹内滋泰
市政クラブ

民生委員の役割と現状について

問 自治会からの推薦が減少する等、民生委員の適任者の確保が難しい状況にある。市の関わりや協力を伺う。

答 県が開催した「民生委員担い手確保事業」の先進的な取組事例を参考に、ヒントを見出し、有効な施策になげていきたい。

予算の範囲内で市長が定める額とすると規定されている。シルバー人材センターが財政的に厳しい状況は認識しており、2分の1の額となるよう努めている。

問 患者に寄り添った医療やロボット手術等が確実に実施されるためのビジョンを伺う。

答 システムにて、より正確な手術や医師の教育効果も期待でき、持続可能な医療の土台作りが期待される。地域医療機関との適切な機能分化や医療連携体制の強化も進めていく。

問 市の要綱では、シルバー人材センター事業費等補助金は、人件費や管理運営費等の2分の1を補助金の基額と定めているが、実際に交付された額は下回る。この差の解消を検討する考えはあるか。

答 要綱では、対象経費の2分の1を基準に



蒲郡市民病院



鈴木将浩
自民党市議団
・無所属の会

自治体職員の兼業について

問 市職員の兼業について

答 兼業の在り方を見直す過程で、許可基準も検討を進めていく。

問 ふるさと住民登録制度について、市の検討状況はどうか。

答 制度の詳細が公表されていないので、検討には至っていない。

問 市独自で蒲郡に関する方の登録制度を先行実施をしてはどうか。

答 対象者との継続的な関係維持のために研究の余地があると考えるので、まずは先進事例を研究していきたい。

問 県外の大学生に、蒲郡で就職活動をする時の就職支援金を考えてはどうか。

答 首都圏の大学生を対象に実施しているが、その他の地域への拡大について、他事例を参考に研究を進める。

移住定住促進について



千賀充能
自民党市議団
・無所属の会

部活動について

問 部活動の地域移行について

答 新たに協議会等を新設するのか、それ以外の形で推進していくのか、他市町村の事例等も参考に、検討しているところである。

問 鹿島町北の市営住宅跡地を開放し、地域の交流や食育推進を図る等の方法があると考える。地域文化や活動を尊重しながら未利用地を生かす考えは。

答 当該地は大規模盛土調査の結果を確認し、売却を検討していくと考へているが、暫定的な利活用として、民間事業者に意見を聞くサウンディング等を実施し、様々な可能性を検討していきたい。

総代区について

問 各総代が提出する要望書の進捗状況について、幸田町ではキントーンを使って確認できることを伺っている。要望書に関するDX化の考え方を伺う。

答 支援制度は先進事例等を調査して効果的な方法を検討したい。

問 計画に基づく地区での取組費用の支援制度を設けてはどうか。

答 計画に基づく地区での取組費用の支援制度を設けてはどうか。

問 県外の大学生に、蒲郡で就職活動をする時の就職支援金を考えてはどうか。

答 首都圏の大学生を対象に実施しているが、その他の地域への拡大について、他事例を参考に研究を進める。

法が導入できるよう検討し、総代業務の負担軽減につなげていきたくと考えている。



青山義明
自民党市議団
・無所属の会

国道473号の状況について

問 国道473号の状況について

答 鉢坂トンネルの老朽化が進む中、早期のルート設定が求められる。過去の勉強会の内容や現状を伺う。

問 最近の診療科の充実の状況について伺う。

答 平成21年度に東三河建設事務所と本市で4回の勉強会を行い、将来の整備に向けたルートの概略検討を行い、その中で4つのルートが提案された。

答 また27年度と28年度に1回ずつ、東三河建設事務所、西三河建設事務所、岡崎市、蒲郡市で勉強会を実施し、異なる新たなバイパスルート案など3案が提案された。

問 最近の診療科の充実の状況について伺う。

答 名古屋市立大学精神科医局に医師派遣を依頼し、今年6月からてんかん外来で月1回、10月から精神科外来で月3回の診療をすることが実現した。また、

今年10月から膠原病内科外来を月1回設置するなど、診療体制の充実が図られている。

問 蒲郡市民病院について

答 他市の事例も参考に、要望書の提出や対応状況の確認について、府内連携を図りながらオンラインによる方

医師や研修医の人について伺う。

答 令和7年度は医師が75名、うち研修医が12名である。今年10月には腎臓内科医師が赴任し、医師数は過去最多の76名で、平成20年の2倍以上に増えている。





鈴木基夫
自由クラブ

障がい者の青年期の学びと集いの場に関するニーズ

問 日常生活用具給付事業について、厚生労働省から令和6年3月、市町村に、適切な種目や基準額となるよう、定期的な見直しに努めるよう指示が出たが、本市の対応を伺う。

答 定期的ではないが2年に、人工鼻、発電機及び外部バッテリー等の種目の追加と、点字ディスプレイの給付対象者を拡大する等の見直しを行った。今後は定期的に状況把握を行い、必要に応じて見直しができるよう検討していく。

問 当事者のニーズ把握や実勢価格の調査等について伺う。

答 当事者のニーズは、要望等があつた際に、要件を満たせばその都度認めてきた。実勢価



大須賀林
自民党市議団
・無所属の会

イネーブリングシティについて

問 費用対効果に見合った基本計画かを伺う。

答 横浜市立大学の武部貴則特別教授を中心におよそ100人の多方面・多數の学術的専門家と定例会議のほか、蒲郡市にもたびたび訪れてもらい、丁寧な支援を受けていた。新たなまちづくりの提案や事業の企画を進めしており、イネーブリングシティ形成を推進できるための予算と考へる。

問 市民の歩数が少ないという課題は解消できるのか。

答 健康施策との連携も必要であるが、イネーブリングシティが形成され、人々が幸福を感じできるものや場所が市内に増えることで、市民が歩きたくなるまちづくり施策の推進を



令和6年度一般会計決算などを議決

9月市議会定例会は、9月4日から25日までの22日間の会期で開き、議案25件、意見書案1件を審議しました。その主な内容をお知らせします。

9月定例会
議案

9月定例会

特別委員会から
決算審査

令和6年度一般会計決算などについて、9月定例会で審議されました。

◎ 一般会計

歳出前年度比101・1%

一般会計の歳出は、前年度比101・1%で、歳入は同101・2%でした。

一般会計の歳入から歳出を引いた額は、14億1928万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の2億8377万円が含まれています。

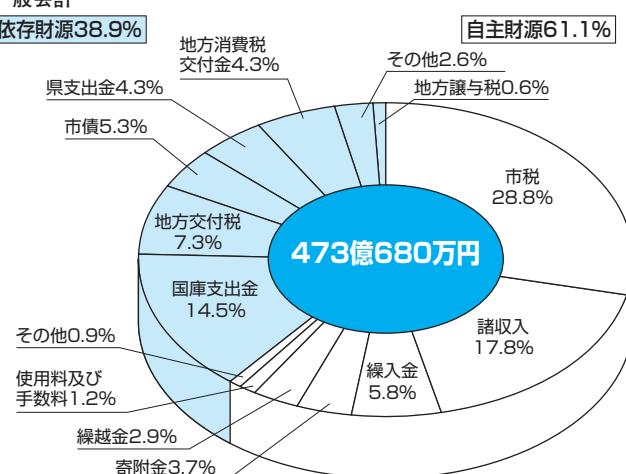
これを除いた実質収支額は11億3551万円の黒字です。

■歳入歳出

歳入

一般会計

依存財源38.9%



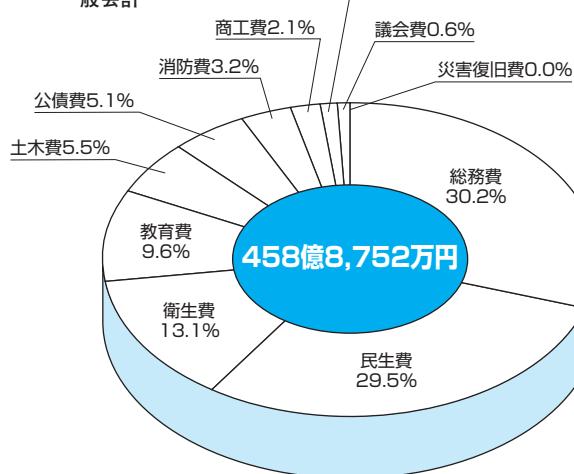
歳出

一般会計

農林水産業費 1.1%

議会費 0.6%

災害復旧費 0.0%



■ 9月定例会の日程

4日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、採決、一般質問など〕
	決算審査特別委員会
5日	本会議〔一般質問〕
8日	本会議〔一般質問〕
	議会運営委員会
9日	総務委員会
10日	経済委員会
11日	文教委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
18日	決算審査特別委員会
19日	決算審査特別委員会
25日	本会議〔委員長報告、意見書案説明、質疑、討論、採決など〕

■令和6年度決算

	歳入	歳出
一般会計	473億680万円	458億8,752万円
特別会計	117億397万円	107億4,900万円
企業会計		
水道事業	収益的 19億2,164万円	18億2,846万円
下水道事業	資本的 7億4,952万円	15億9,361万円
病院事業	収益的 27億4,691万円	22億7,349万円
墓地事業	資本的 28億655万円	34億9,689万円
受益的	96億6,035万円	102億1,764万円
資本的	11億589万円	17億5,568万円
受益的	1,732億9,511万円	1,617億1,567万円
資本的	2億1,500万円	25億2,742万円

■特別会計決算(各会計別内訳)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	73億574万円	72億8,079万円
後期高齢者医療事業	25億7,570万円	25億2,600万円
土地区画整理事業	9億351万円	7億7,810万円
公共用地対策事業	8億5,062万円	1億3,015万円
三谷町財産区	5,332万円	2,188万円
西浦町財産区	1,508万円	1,208万円

※決算認定・・・議会が一会计年度の歳入歳出予算の执行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

問

ホームスタート事業委託料

●衛生費

破損や色落ちしていくことが課題であり、今後は少なくとも年1回程度は水洗い流すことや、破損や色落ち箇所の補修等、市民の皆さんと一緒にイベントとして行っていきたいと考えている。

答う。

今後の課題と取組を伺う。季折々の風景やイベント等が72ブロックに分けて描かれている。

問

●衛生費

これまでの取り組みで洗い流すことや、破損や色落ち箇所の補修等、市民の皆さんと一緒にイベントとして行っていきたいと考えている。

答う。

事業内容を伺う。

堤防アート作成事業費

●総務費

■歳出

市政70周年記念事業

農林水産業費

議会費

災害復旧費

総務費

■ 9月定例会で議決された令和7年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第3号)	基金積立金 モーターボート競走事業収益基金積立金 60億円		
	道路交通安全対策事業費 市道宮成町坂本前田1号線改良事業費 625万4千円		
	一般管理費 福祉医療システム改修委託料 741万4千円		
	物価高騰対応重点支援事業費 私立保育園等給食費軽減対策支援金 84万9千円		
	大塚地区保育園低年齢児保育拡充事業費 大塚西保育園臨時保育室等改修工事費 1,760万円	60億8,855 万円	559億5,810 万円
	大塚地区保育園建設準備工事費 土壤分析等委託料 840万円 78万6千円		
	児童遊園地等施設管理費 用地購入費 △1,885万8千円 不動産鑑定手数料 △20万円 油井児童遊園地一部撤去工事費 510万円		
	道路新設改良事業費 市道鹿島東山8号線改良事業費 620万8千円		
	防災行政無線・MCA無線等管理運営事業費 全国瞬時警報システム更新委託料 484万円		
	施設維持管理費 用地購入費 4,987万8千円 不動産鑑定手数料 27万9千円		
後期高齢者 医療事業 特別会計 (第1号)	一般管理費 後期高齢者医療システム改修委託料 297万円	297万円	28億3,607 万円

答
いて伺う。

答 就学前の子どもがいる家庭に研修を受けた地域の子育て経験者であるホームビジターや、週に1回2時間、月に4回程度訪問をして保護者と話したり、一緒に家事や外出等をする家庭訪問型子育て支援ボランティア

イアの仕組みである。令和6年5月から8月にかけてホームビジターの養成を行い、9月より訪問事業を開始している。

水產業新事業創出實證
事業負擔金

欲の向上につなげることを目指していふ。

る、IT技術を活用した力
キ養殖の実証事業である。

TGC会場及びライブ配信の現徳音效は延べ500万

答 2584万6557円
の内訳は、種苗代・養殖か
ご・消耗品で約780万円

データ分析センター通信構築の経費等で約360万円
カキ養殖の技術提供業者への委託費で約1340万円
作業を行う漁師等の経費等

答問 三谷海域に竹島海域を約100万円となつてゐる。実績について伺う。

を通じてカキを出荷せんまで生育させることができ蒲郡の海域にてカキ養殖が十分可能であることが実証されたと認識をしている。

●商工費

地場産業活性化事業費

東京ガールズコレクションに出演した実績と効果について伺う。

民間木造住宅耐震改修費 補助金

問 令和6年度の実績や耐震化率はどのように変化しているのか。

答 木造住宅の無料耐震診断が238件、耐震改修の補助が38件であった。耐震化率は7年1月1日現在、67%であり、前年から1：2%上昇している。



答 大災害に備える耐震化の重要性を説明する出前講座を、地域の防災訓練や地域の集会等で行つており、広報や市のホームページで周知している。6年度は形原8区の自主防災会や、形原4区、蒲郡公民館で出前講座を開催した。7年度からは市内4つの小学校でも出前講座を予定している。

● 教育費

原4区、蒲郡公民館で出前講座を開催した。7年度からは市内4つの小学校でも出前講座を予定している。

学校保護者連絡システム

問 事業内容と使用料の内訳を伺う。

答 昨年9月より市内小中学校ではICTサービス、コドモンを導入しており、保護者への迅速な情報伝達、ペーパーレス化、保護者と学校双方の負担軽減を目的としている。

● 下水道事業会計

収益的収支の状況は、3

億2084万円の純利益を計上しました。当年度未処分利益剰余金は6億7307万円です。

● 病院事業会計
収益的収支の状況は、6

職員向けの研修操作会の費用及び令和6年9月から7年3月までの使用料が、144万2100円である。内訳は、導入時に開催した研修が11万円、20校分の使用料が一ヶ月あたり19万300円である。

問 システム導入の効果はあつたのかを伺う。

答 遅刻や欠席の連絡をする際は、これまで指定の時間帯に電話連絡をしてもらっていた保護者や、その電話に対応していた担任等の負担軽減につながった。学年だより等の配信もできるため紙の使用量も削減された。

● 水道事業会計

収益的収支の状況は、3335万円の純利益を計上しました。当年度未処分利益剰余金は3449万円です。

億8091万円の純損失を計上しました。当年度未処理欠損金は130億2946万円に増加しています。

● モーターボート競走事業

年間の売上額は1681億5525万円で、前年度

と比較し3・5%増、本場入場者数は1・3%減となっています。

(第58号議案)

● 市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正

条例の改正

● 本会議での主な論点

賛成政令が改正された理由は、最近における物価の変動を踏まえて限度額が引き上げられたためであり、政令で定める額と同額にする条例改正は妥当と考える。

反対 確かに物価高騰の影響はあるが、その影響を一番強く受けているのは市民の暮らしである。限度額の引上げは市民負担の増加につながるうえ、改正は3年前にも行われている。



● 総務委員会での主な質疑 その他の議案

問 今回の改定に伴う影響額はいくらになるのか。

答 候補者1人当たり、市議会議員選挙では1万655円の公費負担額の増、市长選挙では1万8455円の増となります。

(第62号議案)

委員松井繁氏の任期が令和7年9月30日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員に任命することに同意しました。

■賛否が分かれた議案・意見書案

○：賛成 ●：反対

意見書案番号	会派・議員名 議案・意見書案名	自由民主党蒲郡市議団 ・無所属の会										蒲郡自由クラブ				蒲郡市政クラブ				公明党 蒲郡市議団		無会派 日恵野佳代
		大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	来本 健作	新実 祥悟	伊藤 亨佑	竹内 滋泰	太田 哲也	松本 昌成		
58	市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
60	自動交付機の廃止に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
64	財産の減額貸付	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
68	令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
69	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
70	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
78	令和6年度モーターボート競走事業会計決算の認定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
80	令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	

※大場康議議員は議長職により採決には参加していません。

■全会一致で可決・同意・認定した議案・意見書案（○内の数字は議案、意見書案番号）

- ⑤職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- ⑤7職員の育児休業等に関する条例等の一部改正
- ⑤9水道事業給水条例の一部改正
- ⑥1児童遊園地の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ⑥2教育委員会委員の任命
- ⑥3市道の路線廃止
- ⑥5工事請負契約の変更（市民会館ホール棟耐震補強等工事）
- ⑥6令和6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- ⑥7令和6年度モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分
- ⑦1令和6年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦2令和6年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦3令和6年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦4令和6年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦5令和6年度水道事業会計決算の認定
- ⑦6令和6年度下水道事業会計決算の認定
- ⑦7令和6年度病院事業会計決算の認定
- ⑦9令和7年度一般会計補正予算（第3号）

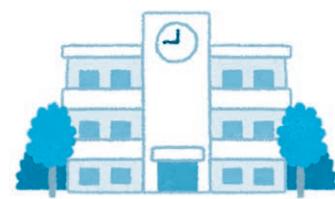
意見書案⑩定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

■ 意見書

⑩定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

(○内の数字は、意見書案番号)



蒲郡市下水道基本計画は、昭和52年3月に策定をされ、今回で6回目の見直しとなります。今回の見直しでは、上位計画である、渥美湾等流域別下水道整備総合計画及び、全県域汚水適正処理構想の見直しを受け、計画フレーム（計画目標年度、計画区域、計画処理人口）や計画諸元（汚水量原単位、計画汚水量、計画汚濁負荷量、各種施設設計条件）を変更するものです。

また、老朽化が進む現在のし尿処理場（清幸園）に代わる施設を、蒲郡市下水道浄化センターに設置するなど、施設全体の見直しを行いました。

下水道基本計画の改訂について

9月10日に開かれた経済委員会において、蒲郡市下水道基本計画の改定について、報告がありました。蒲郡市下水道基本計画は、昭和52年3月に策定をされ、今回で6回目の見直しとなります。今回の見直しでは、上位計画である、渥美湾等流域別下水道整備総合計画及び、全県域汚水適正処理構想の見直しを受け、計画フレーム（計画目標年度、計画区域、計画処理人口）や計画諸元（汚水量原単位、計画汚水量、計画汚濁負荷量、各種施設設計条件）を変更するものです。

現在、「総合診療科」は厚生労働省の医療広告ガイドラインに標榜可能な診療科として記載はされていますが、国で標榜可能とする検討がされている状況を踏まえ、内科を中心とした「総合診療科」を通称名として開設することになりました。

市民病院における「総合診療科」の開設について

委員会通信

委員会の行政視察等の報告

7月に経済委員会が行政視察を行いました。視察地や視察事項をお知らせします。

経済委員会 7月3日

BOATRACE六本木

- 一般財団法人 日本モーターボート競走会
- 一般財団法人 BOATRACE振興会
- 公益社団法人 日本モーターボート選手会
- 株式会社 日本レジャーチャンネル
- 一般社団法人 全国モーターボート競走施行者協議会



視察事項：ボートレース業界の現況と今後の施策について

●編集 議会だより編集委員会 ●発行 蒲郡市議会 ●〒443-8601 蒲郡市旭町17-1 ●TEL 0533(66)1169 ●FAX(66)1186

野佳代議員が一般質問を行なった。また、蒲郡市選出の日恵度東三河広域連合一般会計を認定、可決しました。

8月6日、12日に東三河広域連合議会8月定例会が開催されました。今定例会では、令和6年歳入歳出決算など計4議案を認定、可決しました。

東三河広域連合議会

月3日（水）に開会する予定です。詳しい日程は、11月25日（火）に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

12月市議会定例会は、12月3日（水）に開会する予定です。詳しい日程は、11月25日（火）に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

12月定例会予定

いました。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。また、議会だよりは蒲郡駅（観光交流センター・ナビテラス）、市民病院、市立図書館にも置いてあります。ぜひお手に取ってご覧ください。

議会日誌

6月24日から9月25日

7月

3日 経済委員会行政視察

8月

22日 議会運営委員会理事会
26日 9月定例会招集告示
議案説明会
29日 議会運営委員会
議会運営委員会理事会

9月

4日～25日 9月定例会
25日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会



この夏、豊橋中央高校が甲子園に初出場し、東三河地域に大きな感動をもたらしました。地元出身選手たちの活躍は、若者の努力と地域の支えが結実した象徴として、多くの市民に希望を与えました。一方、蒲郡市内では小中学校の部活動の地域展開に向け、令和8年8月には中学校の休日部活動が原則廃止される予定です。指導者の確保や活動場所の整備など、地域全体での支援体制が問われる中、注目されているのが「地域クラブ活動」の役割です。

市内では既に一部のスポーツ団体が、教育委員会と連携した受け皿づくりを始めており、今後は文化系活動も含めた多様な選択肢の整備が求められます。市議会では、子どもたちが安心して活動できる環境づくりに向け、地域団体との協働や財政支援のあり方について議論が進められています。

スポーツを通じた地域の絆を次世代へつなぐため、市民の皆様にもお力を貸していただければ幸いです。

議会だよりをスマホへ配信します！

右のQRコードを読み込むか
「マチイロ」で検索

無料です！



今月の表紙 議場大型モニター

令和6年12月定例会より、市役所新館8階にある議場で大型モニターの運用が始まっています。議会の様子や一般質問の資料などが、傍聴席からも確認しやすくなりました。

また、大型モニターに映されている映像はYouTubeにて、ライブ配信及び録画配信もされています。

今後も、より多くの方々に蒲郡市議会の活動をお届けできるよう努めてまいります。

